



## 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞



岡山県推薦

### 株式会社 湯郷プラザホテル 季譜の里

(岡山県美作市)

幼児から高齢者まで様々な方が安心して利用できるような施設づくりを目指し、玄関ロビーや廊下を含め、館内全てを畳敷きとし、極力段差を解消するといったハード整備に加え、利用者からの声や要望を取り入れ、可能な限り配慮してきている。

玄関ロビーや廊下を含め、全館畳敷きの本旅館は、バリア等が存在した既存建築物を、2002年及び2009年と二度に渡り全面的に見直し、UD客室を設ける等の大改修を行ったものである。幼児から高齢者までの各層が安心して利用できるような施設づくりを目指したこれらハード面の設備に加え、ソフト面においても、利用者からの声や要望を取り入れ、可能な限りの配慮を行っている。

玄関で靴を脱いだ後、館内どこでも素足

で過ごすことができる本旅館における「畳の感触」「香り」「さわやかな緑色」は、季節の活け花及びお香の香りと共に、宿泊客にとっての癒し効果が高く、非常に好評である。

常日頃から利用者の言動及びアンケートを重視し、改善点等に直ちに取り組むという、組織全体としてのスパイラルアップの姿勢は、県内外の他のバリアフリー・UD推進において模範となっているものである。



ホテル玄関



車イスで利用可能なテーブル

# 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞

北海道推薦

## 株式会社 らむれす・三角山放送局

(北海道札幌市)

障害者自らが自分の考えを語り地域に発信する場として、障害者がスムーズに使えるユニバーサルデザイン放送機器の開発に取り組み、社会参加を促進している。また、放送局建物もバリアフリー化し、地域住民との交流も積極的に行っている。

札幌市西区のコミュニティFM「三角山放送局」は、障害者と健常者がごく普通に話し合える『番組づくり』及び『場づくり』を地域住民と共に実践し、平成10年の開局当初から障害者がパーソナリティとなり、自らが自分の考えを語り地域に発信する場を構築してきたところである。しかし、放送機器は障害者の使用が想定されておらず、障害者がスムーズに放送するには放送機器のバリアフリー化が必要であった。そこで、三角山放送局では、北海道立工業試験場（現：地方独立

行政法人研究機構産業技術研究本部）の協力を得ながら、障害者が使える放送機器の開発に取り組んだ。

頸椎損傷のパーソナリティにおいて、呼吸により自らが喋り出すタイミングでマイクのスイッチを入れることができるエンジェルブレスの開発をはじめ、様々な製品開発を行うと共に、放送局建物のバリアフリー化等による地域住民との交流も積極的に行い、福祉のまちづくりの輪を広げている。



エンジェルブレスを使って放送している山本博子氏



視覚が不自由な人も喋り出しの合図が分かるブルブルキュー



# 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞



岡山県推薦

## 特定非営利活動法人 まちづくり推進機構岡山

(岡山県岡山市)

全国初の取組となるユニバーサルデザイン普及啓発拠点「UDほっとステーションおかやま」をオープンし、「体験」「相談」「交流」「展示」を総合的に提供、ユニバーサルデザイン推進のための普及・啓発活動を県内全域で活発に行っている。

「住む人が使う人がつくるまち」を基本理念に、平成16年に設立されたNPO法人であり、「地域の安心・安全」、「中心市街地活性化」及び「住まいづくり」など、様々な分野からまちづくり活動を行っている。

全国初の取組となるUD普及啓発拠点「UDほっとステーションおかやま」を県との協働事業により、平成19年にオープンした。UDに係る「体験」「相談」「交流」「展示」を総合的に提供し、UDの考え方を県民に普及・

定着させる拠点として大きな役割を果たしている。

県との協働期間終了後の平成22年度以降も、UD推進には拠点が欠かせないという認識から、自主事業として運営を続け、県内UD普及啓発に大きく貢献している。その一環として、車イス体験及び点字ブロックの敷き方相談受入等を行い、県内外のバリアフリー・UD推進に大きく貢献し、他の模範となっている。



車イス体験



点字ブロックの敷き方相談受入



## 内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞



経済産業省推薦

### 国際ユニヴァーサルデザイン協議会

(神奈川県横浜市)

ユニバーサルデザインの更なる普及と実現を通して、社会の健全な発展とくらし創りを目指す国内最大規模の団体であり、研究や活動の成果を披露する場として、「国際ユニヴァーサルデザイン会議」を開催するなど幅広い層への普及・啓発活動を行っている。

当活動体は、ユニバーサルデザインの更なる普及と実現を通して、社会の健全な発展とくらし創りを目指しており、2011年4月1日現在、124社、18団体、74名が参加する国内最大規模のUD推進団体である。

2002年にUDに関する我が国初の国際会議「国際ユニヴァーサルデザイン会議 2002」が開催され、この会議の理念と成果を踏まえ、UDの更なる普及と実現を目指し、2003年

11月に「国際ユニヴァーサルデザイン協議会」は設立された。その後、第2回京都及び第3回浜松における会議を主催し、着実に実績を積んでいるところである。

UD開発成果の国内外への発信については国際会議の役割が非常に大きく、参加した産・官・学・ユーザー等多くの層の高い関心を得ることとなり、計3回の国際UD会議を経て改めてその重要性が確認された。



第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議2006in京都